

KENWOOD

CDレシーバー

RX-590MP

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/CD Mode

MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control/Audio Control

Menu Set



使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation



ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Option

Remote Control

Help ? Operation
? Word
? MP3

Functional Operation

EZ Operation

Contents

ここを読まなければ操作できない!
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

CDの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた12

リモコンでも操作できるゾ!

Remote Control

Remote Control38

共通の操作

電池の入れかた

ディスク (CD/MP3/MD) の操作

FM/AM放送の操作

DNPS (ディスク名前プリセット) /

SNPS (ステーション名前プリセット)

SBF (セレクトバイファイルプレイ) の操作

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ!

Help

Help? Operation44

Help? Word50

Help? MP351

付録

Appendices

取り付け時のご注意54

接続56

取り付け58

保証とアフターサービス59

仕様一覧60

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection14

ソース選択

CD Mode14

トラックサーチ

マニュアルサーチ

トラックリピートプレイ

スキャンプレイ

ランダムプレイ

テキストスクロール

ポーズ

MP3 Mode16

MP3ファイルプレイ

ポーズ

ファイルサーチ

フォルダサーチ

マニュアルサーチ

ファイル/フォルダリピートプレイ

ランダムプレイ

スキャンプレイ

フォルダセレクト

ネームスクロール

Tuner Mode20

バンド切り替え

チューニング

マニュアルメモリー

オートメモリー

プリセットチューニング

Name Set Mode22

DNPS (ディスク名前プリセット) /

SNPS (ステーション名前プリセット)

AUX名前セレクト

Display Control24

ディスプレイ表示切り替え

パネル取り外し

パネル取り付け

Audio Control25

ラウドネスコントロール

ノンフェーダー出力設定

オーディオコントロール

dB EQUALIZER

スピーカーマッチング

Menu Set28

- メニューセット
- セキュリティコード
- 時計調整
- イルミカラーコントロール
- ユーザーカラーメモリー
- ユーザーカラーの呼び出し

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

External Disc Control36

- ディスクサーチ
- トラックサーチ
- マニュアルサーチ
- ポーズ
- トラック/ディスクリピートプレイ
- ランダムプレイ
- マガジンランダムプレイ
- スキャンプレイ
- タイトル/テキストスクロール

Functional

Source Selection/CD Mode

MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control/Audio Control

Menu Set

EZ Operation

Options

Remote Control

H

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。
- ? MP3 本機でプレイできるMP3ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

 **共通の操作**
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

 **CDの操作**
CDをプレイする操作を表しています。

 **チューナーの操作**
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

 **注意**
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

 **メモ**
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。



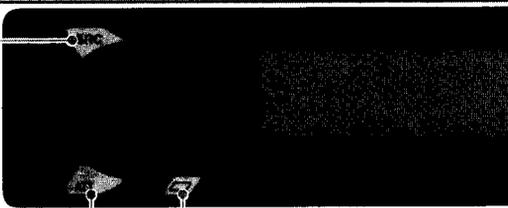
1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときは2秒間押します。押し秒数は矢印印の中の表示を目安にできます。

A



B

C

この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

A

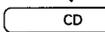


押すたびに次の順で切り替わりま



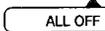
TUNER

FM/AM放送を受信



CD

CDをプレイ



ALL OFF

電源をオンのままで機能を停止

ディスプレイ表示
スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字または内容

ラウドネスコントロール

高域音と低域音を強調してメリハリのある音質にします。

B



LOUD ON

1秒以上押すたびに、ラウドネスオン/オフされます。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

Source Selection/CD Mode

MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control/Audio Control

Menu Set

Options

Remote Control

H

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓢ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

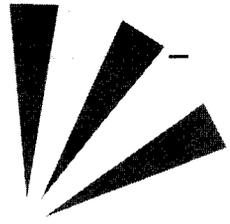
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする




禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。


禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。




禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。


禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。


禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。


禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。


実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ ディスクチェンジャーについて

本機には、“O-Nスイッチ”のついているケンウッド製CDプレーヤー／ディスクチェンジャーが接続できます。また、“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

“O-Nスイッチ”の付いていないケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.44)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

オートアンテナ付き車に 取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

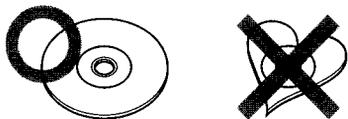
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

 マークの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

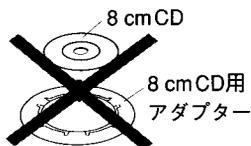
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テ
ープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルな
どのノリがはみ出したり、はがした痕があるもの
はお使いにならないでください。そのままCDプ
レーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

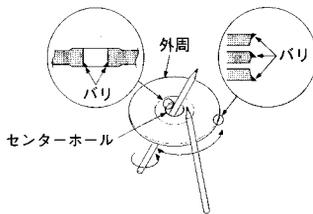
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

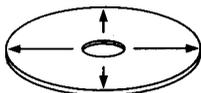
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し
てください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

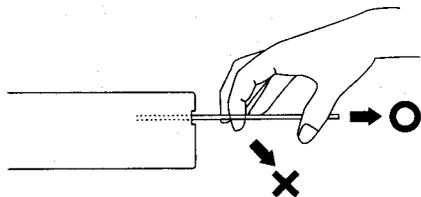
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



CDのプレイは簡単！ CDを差し込むだけです。

 **電源をオン/オフします。**
 押すと電源がオンになります。
 1秒以上押すと、電源がオフになります。

 **CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**
 ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、CD、ALL OFFに切り替わります。

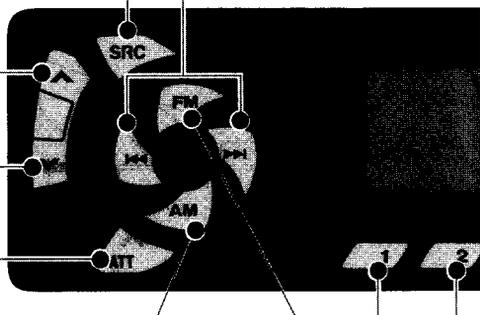
 **プレイする曲を選びます。**

 **受信する放送局を選びます。**
 受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
 チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(28ページ)

 **交通情報の周波数 (1620KHz/1629KHz/522KHz) を切り替えます。**

 **音量を上げます。**

 **音量を下げます。**



 **FM放送のバンド (FM1/FM2) に切り替えます。**

 **AM放送のバンド (AM1/AM2) に切り替えます。**

 **音量をすばやく小さくします。**
 もう一度押すか、へボタンを押すと元の音量に戻ります。
 アッテネーターがオンのときは、ATTインジケーターが点滅します。

 **注意**

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



CDの操作



チューナーの操作

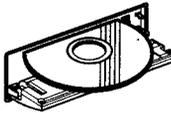


共通の操作



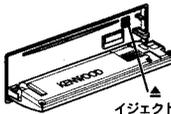
CDをプレイするときは…

を押して操作パネルを開き、プレイするCDを差し込みます。差し込んだCDがプレイされます。



CDを取り出すときは…

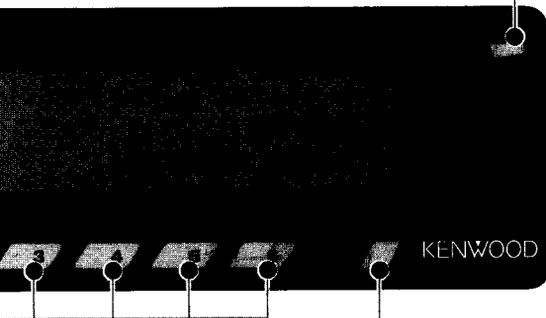
イジェクトボタンを押します。



イジェクトボタン



- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- MP3ファイルが収録されたCD-ROM、CD-R、CD-RWも同様の操作でプレイすることができます。くわしくはMP3 Mode (16ページ)をご覧ください。



KENWOOD

交通情報を受信します。



もう一度押すと元に戻ります。交通情報を受信中はTインジケーターが点灯します。

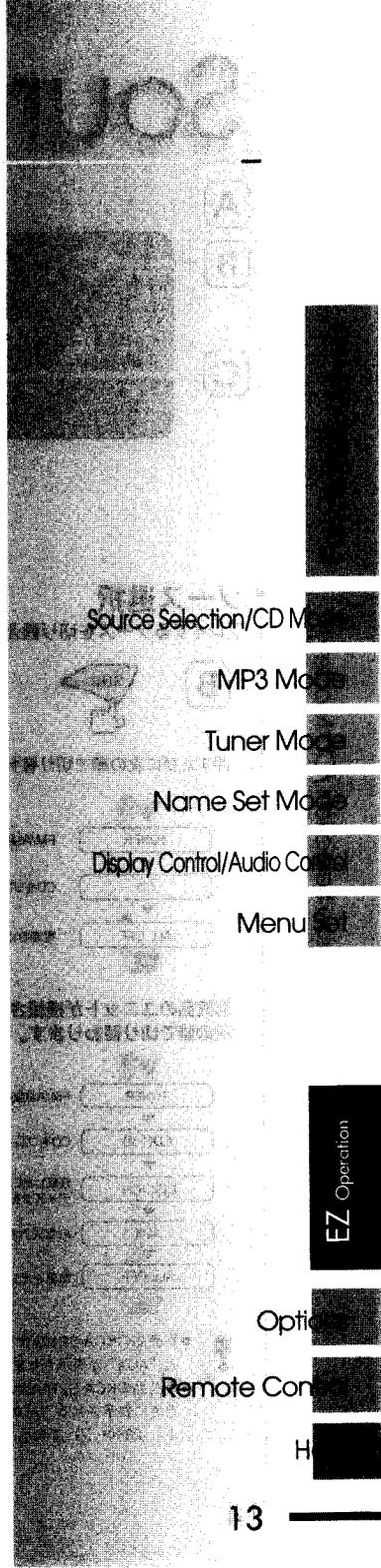


交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信すると自動的にこの音量になります。

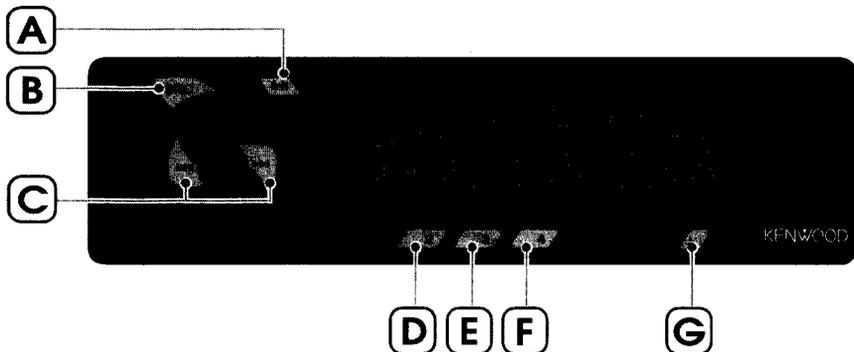


メモリーされている放送局を過ぎます。

2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



Source Selection / CD Mode

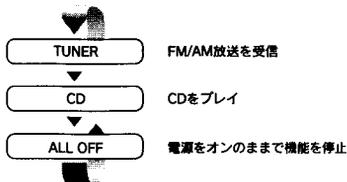


ソース選択

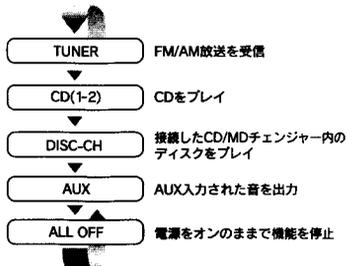
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXを接続すると“AUX”が表示されます。
- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXを接続したときに表示される“AUX”は「AUXネームセレクト」(23ページ)で表示を替えることができます。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

プレイするソースを切り替えます。
また、CDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します



押すたびに、スキャンプレイがオン/オフされます。スキャンプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

を押すと、次の曲をランダムに選択します。

テキストスクロール

SCL設定が“MANU”のときに、テキスト表示をスクロールさせます。

1 テキスト表示にします



「ディスプレイ表示切り替え」(24ページ)を参照してディスクテキストまたはトラックテキストを表示します。

2 スクロール表示します



ディスクテキストまたはトラックテキストが1回スクロールします。

「メニューセット」(28ページ)の“SCL”項目が“AUTO”のときに、上記の操作を行うと、ディスクテキストまたはトラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。

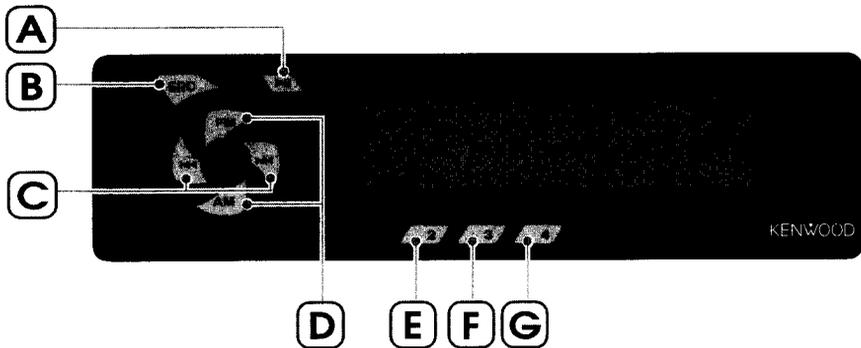
ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

MP3 Mode



MP3ファイルプレイ

MP3ファイルを聴きます。



MP3ファイルをプレイするには、本機にMP3の収録されているメディアを挿入します。挿入されているときは、ソース選択でCDソースを選択します。

- 本機でプレイできるメディアはCD-ROM, CD-R, CD-RWです。また、フォーマットがISO9660 level1, level 2, Joliet, またはRomeoのメディアを使用してください。MP3ファイルの書き込み方法や注意などが「Help? MP3」(p. 51)に記載されています。メディアを作成する前にご覧ください。
- プレイを開始するまで、MP3ファイルが収録されているメディアかを確認するため、音楽CDをプレイするときより時間がかかります。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

ファイルサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイの先頭/前の曲へとファイルサーチします。

- ファイルサーチにはフォルダ階層の状態により時間がかかることがあります。

フォルダサーチ

順にフォルダを選びます。



押すたびに、次のフォルダ/前のフォルダへとフォルダサーチします。

選択したフォルダ内にファイルがない場合は、自動的にプレイ順で一番近いファイルをプレイします。

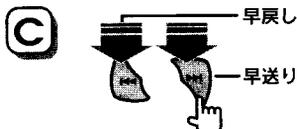
- ファイル数およびフォルダ階層の状態によりフォルダサーチに時間がかかることがあります。

CDに収録されているMP3ファイルをプレイします。

基本的なMP3ファイルの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

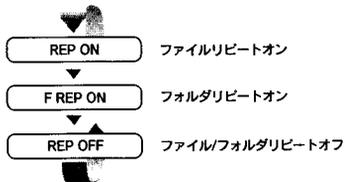
- マニュアルサーチ中は、音声が出力されません。
- 早戻しができるのは、再生中のフォルダの先頭までです。

ファイル/フォルダリピートプレイ

現在聴いている曲/フォルダを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフされます。



ランダムプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

- を押すと次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

フォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 スキャンプレイを開始します



押すたびに、スキャンプレイがオン/オフされます。スキャンプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

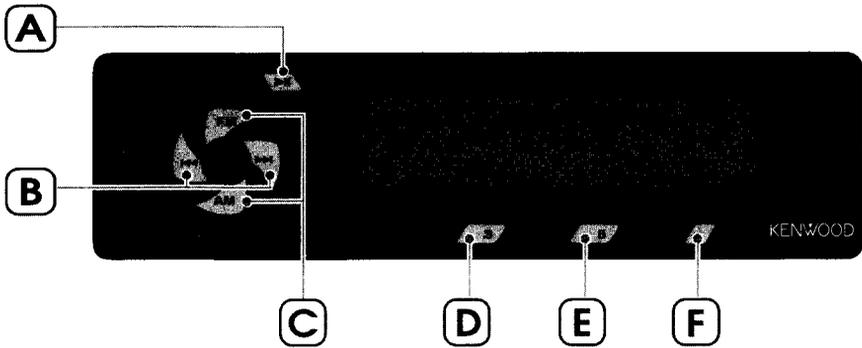
2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

MP3 Mode



フォルダセレクト

聴きたい曲の入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



フォルダセレクトモードになります。
ディスプレイに以下の表示がされます。

<フォルダネーム表示>
フォルダネームを表示します。

KENWOOD F

● フォルダが1つも記録されていないメディアでは、フォルダセレクトモードに入ることができません。

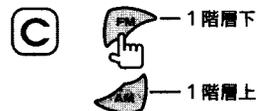
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

● フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3」(51ページ)を参照してください。

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

- フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルをプレイします。

ネームスクロール

SCL設定が“MANU”のときに、フォルダ/ファイルネームやID3 TAG表示をスクロールさせます。

1 フォルダ/ファイルネーム、ID3 TAG表示にします



「ディスプレイ表示切り替え」(24ページ)を参照して、フォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル、またはID3アルバム&アーティストを表示します。

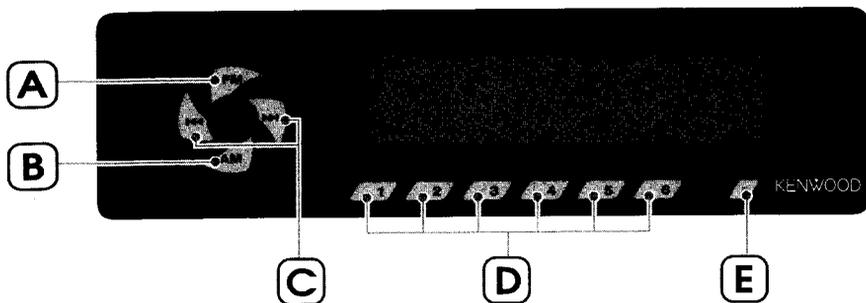
2 スクロール表示します



表示中のフォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル、またはID3アルバム&アーティストが1回スクロール表示します。

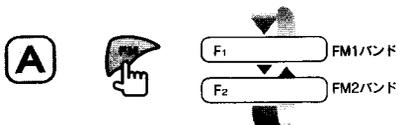
- 「メニューセット」(28ページ)の“SCL”項目が“AUTO”のときに、上記の操作を行うと、表示中のフォルダ/ファイルネーム、ID3タイトル、またはID3アルバム&アーティストが最初の文字からスクロールを開始します。

Tuner Mode



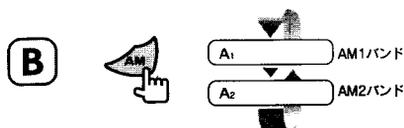
バンド切り替え

FM1、FM2バンドに切り替えます。



押すたびに、FM1とFM2に切り替わります。

AM1、AM2バンドに切り替えます。



押すたびに、AM1とAM2に切り替わります。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードがオート1のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート2のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は次ページを参照してください)

チューニングモードがマニュアルのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニューセット」(28ページ)の“AUTO”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。
基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

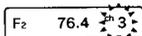
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

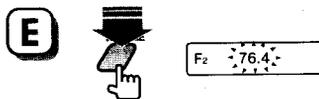
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

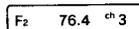
プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

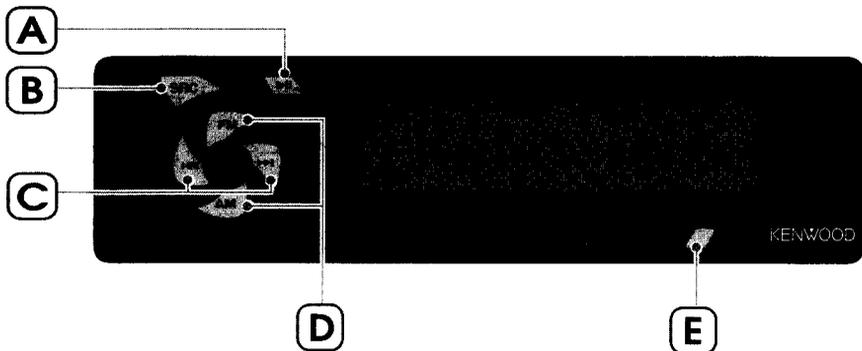
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

Name Set Mode



DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- ディスプレイに、ディスクタイトル、トラックタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、タイトル名、アルバム名またはアーティスト名を表示中は、DNPSは行えません。上記以外の表示を選択しておいてください。
- MDにDNPSを行うことはできません。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

A	英大文字
a	英小文字
1	数字・記号
ア	カタカナ

5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外したり、リセットボタンを押すとDNPS/SNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2~6の操作により変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局が32局、AM放送局が16局です。
- 本機にDNPSで登録できる枚数は30枚です。また、接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーにDNPSできる枚数は機種によって異なります。詳しくは、CDプレーヤーまたはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 名前は8文字まで入力できます。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

FM/AM放送や本機内のCDまたは別売品のCDプレーヤーおよびCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。また、別売品を接続しているときに表示されるAUXモードに名前を設定できます。

AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 AUXネームセレクトを開始します

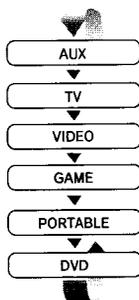


“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



4 AUXネームセレクトを終了します



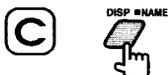
- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。

Display Control / Audio Control

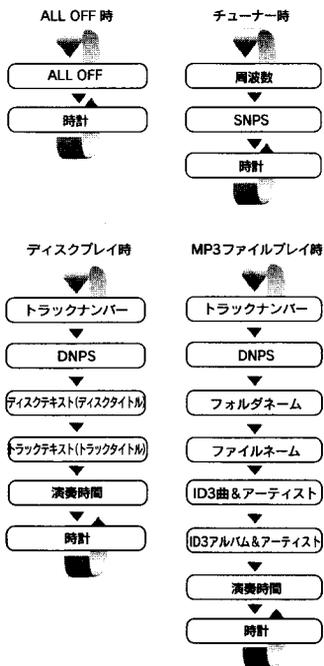


ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



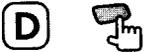
- MP3ファイルプレイ時に表示される演奏時間は、実際の演奏時間と一致しない場合があります、不連続となることがあります。
- 半角英数字以外の文字で入力されているファイルネーム、フォルダネームは正常に表示されないことがあります。

ディスプレイに表示される情報を切り替えたり、パネルの取り外しもできます。また、音質バランスなどを調整します。

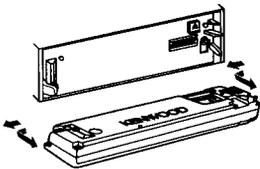
パネル取り外し

操作パネルを取り外すことにより、盗難を抑制します。

1 操作パネルを開けます



2 操作パネルを取り外します

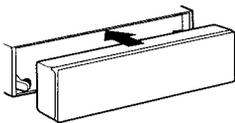


パネルを左側に押しながら手前に引きます。

- 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。
- 「メニューセット」(28ページ) “DSI” 項目がオンになっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

パネル取り付け

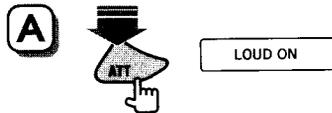
操作パネルを元のように取り付けします。



パネルを本体に合わせてロックするまで押します。

ラウドネスコントロール

高音と低音を強調してメリハリのある音質にします。



1秒以上押すたびに、ラウドネスコントロールがオン/オフします。

ノンフェーダー出力設定

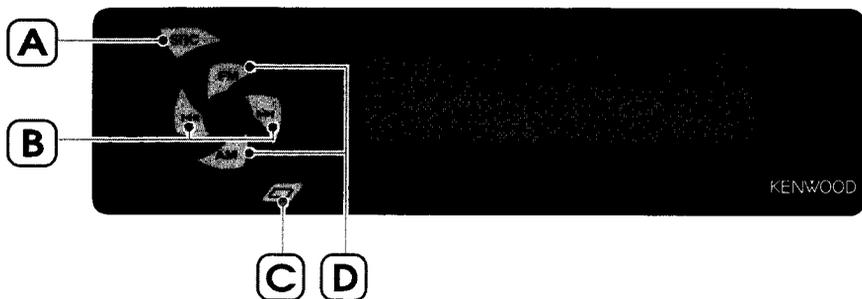
ノンフェーダー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、ノンフェーダー出力がオン/オフします。

- ノンフェーダー出力設定は「メニューセット」(28ページ)の“SWPRE”を“NF”のときに設定できます。

Audio Control



オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 設定したいソースにします



2 オーディオコントロールモードにします



3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bas [バス] (低音の音量レベル)	-8 ~ +8
Mid [ミッド] (中低音の音量レベル)	-8 ~ +8
Tre [トレブル] (高音の音量レベル)	-8 ~ +8
Bal [バランス] (左右の音量レベル)	L[左]15~R[右]15
Fad [フェーダー] (前後の音量レベル差)	R[後]15~F[前]15
V-OFF [ボリュームオフセット] (ソース間のレベル差)	-8 ~ 0

- “BAS”、“MID”、“TRE”、および“V-OFF”は、各ソースごとに設定できます。
- “V-OFF” (ボリュームオフセット) は聴く時点での音量に対して、各ソースごとの音量差を設定しておくことができる機能です。

5 オーディオコントロールを終了します



dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

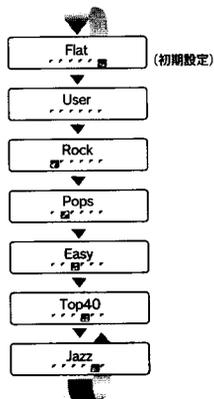
1 設定したいソースにします



2 dB EQUALIZERを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。オンになっているジャンルのインジケータが点灯します。



- 「dB EQUALIZER」はFM放送、AM放送、CD、DISCの各ソースごとに設定できます。
- 「User」は「オーディオコントロール」(26ページ)で設定した値を呼び出します。

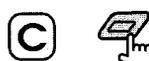
スピーカーマッチング

音質をスピーカーに合わせて微調整します。

1 ALL OFFモードにします



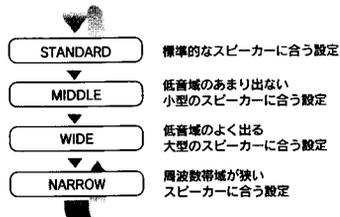
2 スピーカーマッチングモードにします



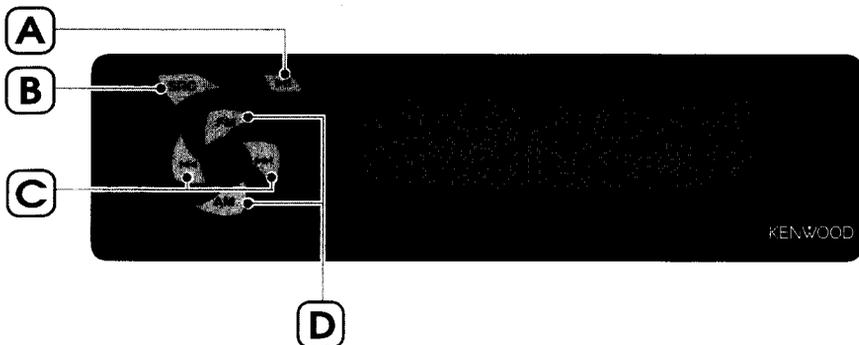
3 スピーカーの選択をします



押すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。



Menu Set



メニューセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定する項目があるモードにします



2 メニューセットモードにします



“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

3 設定項目を選択します



表の順番で設定するメニュー項目が切り替わります。

- 設定項目のくわしい機能説明は「Help? Word」50ページを参照してください。

4 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

全ソース中の設定項目

設定項目	設定値
Beep (ビープ音)	ON/OFF
CLK ADJ (時計調整)	設定の方法は32ページをご覧ください。
DSI (LED点滅設定)	ON/OFF
Display (ディスプレイタイプ の選択)	A/B/C/D
COL (ディスプレイ表示色 の設定)	設定の方法は34ページをご覧ください。
CONT (ディスプレイの文字 のコントラスト調整)	0~5~10
DIM (車両ライトスイッチが オンのときの減光を設定)	ON/OFF
SWPRE (プリアウト出力選択)	R/NF
SCL (タイトル/テキスト スクロール設定)	AUTO/MANU

(太字は初期設定値)

本機の種類機能を設定します。

ALL OFF 中の設定項目

設定項目	設定値
Security (セキュリティーコード の登録設定)	設定の方法は30 ページをご覧ください。
Navi (ナビ音声ガイド時の ミュート設定)	ON/OFF

(太字は初期設定値)

TUNERソース中の設定項目

設定項目	設定値
AUTO (チューニングモード)	AUTO1/ AUTO2/ Manual
MONO (FM放送モノラル受信)	ON/OFF

(太字は初期設定値)

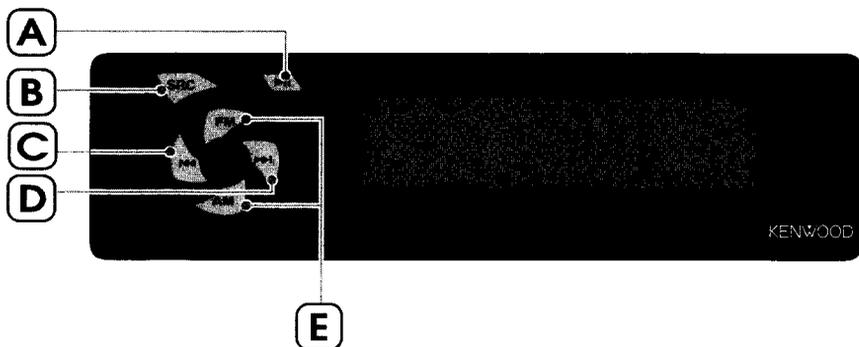
● “MONO” 項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。

5 メニューセットモードを終了します

A



Menu set



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

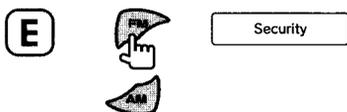


2 メニューセットモードにします



“MENU”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

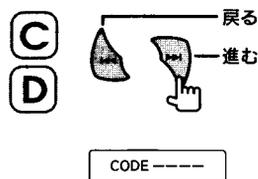


4 セキュリティコード入力を開始します



“ENTER”と表示されるまで押し続けます。

5 コード入力桁を選択します



6 コードを選択します



7 セキュリティコードを完成させます

手順5～6を繰り返して4桁のセキュリティコードを完成させます。

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

8 セキュリティコードを登録します

D



RE-ENTER

“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

9 セキュリティコードを再度入力します

確認のためセキュリティコードを手順5～6の方法で再度入力します。

- 手順5～6と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

10 セキュリティコードを再度登録します

D



APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

11 セキュリティコードの登録を終了します

A



メニューセットを終了するときは、もう一度押します。
セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコード入力状態にします

CODE----

電源をオンしてから、“ENTER”が表示された後に“CODE----”が表示されます。

2 セキュリティコードを入力します

前記の手順5～6の操作を繰り返して4桁のセキュリティコードを入力します。

3 セキュリティコードを確定します

D

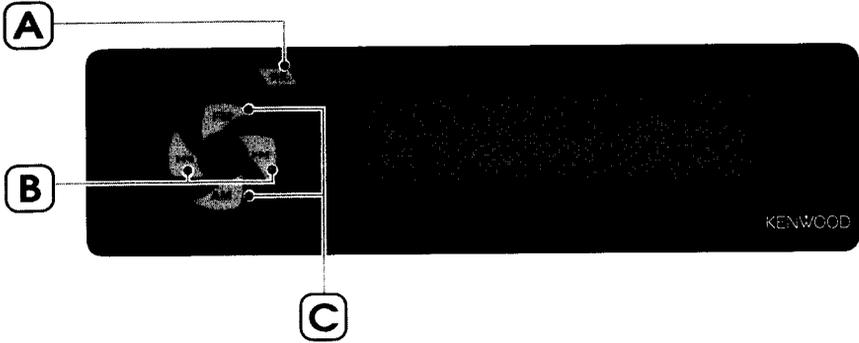


APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。

Menu Set



時計調整

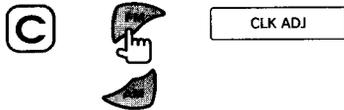
時刻を合わせます。

- 1 メニューセットモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

- 2 時計調整項目を選択します

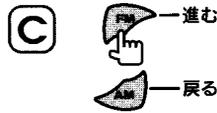


- 3 時刻合わせを開始します

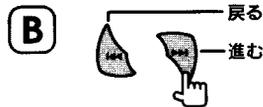


時計表示が点滅するまで押し続けます。

- 4 “時” を合わせます



- 5 “分” を合わせます



- 6 時刻合わせを終了します



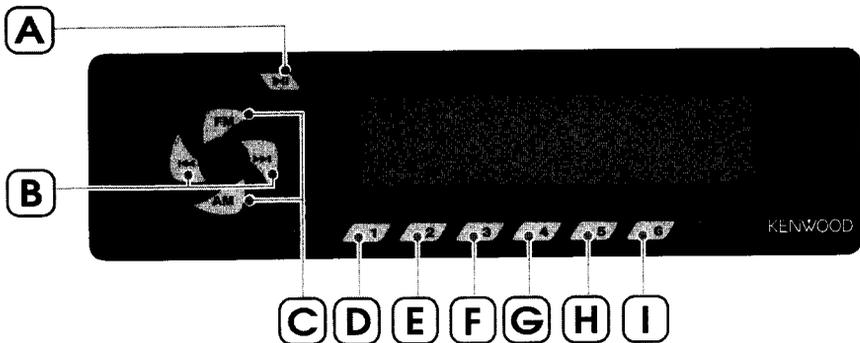
分を調整した時は、“00”秒からカウントがスタートします。

時計表示の時刻を合わせます。



Menu Set

Menu Set



イルミカラーコントロール

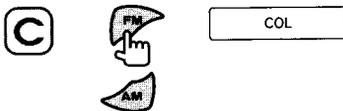
ディスプレイのイルミネーション色を選択します。

1 メニューセットモードにします



“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

2 イルミカラー設定項目を選択します



3 色を調整します

色を連続的に切り替えます



押し続けると、ディスプレイの表示色が変わり続けます。好みの色のところで手を放します。

メモリーされている色を呼び出します



各ボタンで選択できる色は次のとおりです。

ボタン				
色	白	赤	青	青緑

カラーモードを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

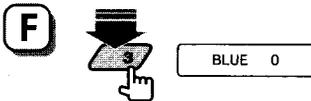
	COL Scan	次々にディスプレイの色が切り替わります
	COL SRC	選択したソースにより色が切り替わります
	COL Time	6時間ごとに色が切り替わります
	COL ***	設定してある色を表示します

! “COL ***”は、カラーモードを選択する前の色を表示します。

ディスプレイのイルミネーション色をいろいろな方法で設定します。

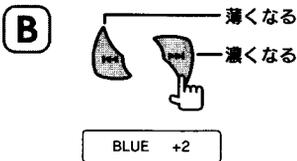
青色の微調節をします

1. 青色の調節モードに入ります



“BLUE **”と表示されるまで押し続けます。

2. 青色を微調節します



−5～+5の間で薄い青から濃い青へと切り替わります。

3. 青色の微調節を終了します



4. メニューセットモードを終了します



メニューセットモードを終了せずに、引き続き または で「メニューセット」(28ページ)の別の項目設定も行えます。

ユーザーカラーメモリー

ディスプレイのイルミネーション色を登録します。

1. メモリーしたい色を表示させます

「イルミカラーコントロール」の手順1～3を参照してメモリーしたい色を表示します。

2. ユーザーカラーを登録します



“COL User”と表示されるまで押し続けます。

青色の微調節で調節した青色は、ユーザーカラーメモリーできません。

ユーザーカラーの呼び出し

登録してある色を呼び出します。

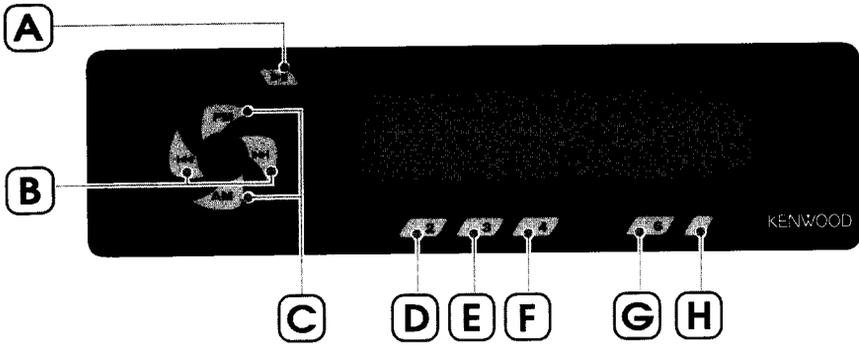
1. イルミカラー設定項目を選択します

イルミカラーコントロールの手順1～2を参照して“イルミカラー設定”項目を表示させます。

2. ユーザーカラーを呼び出します



External Disc Control

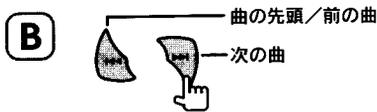


ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)
プレイするディスクを選択します。



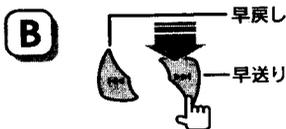
トラックサーチ

順に曲を選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



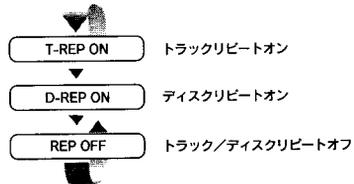
もう一度押すとプレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

🔦 🎵 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

別売品のCDプレーヤーやディスクチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

マガジンランダムプレイ

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



MRDM ON

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

マガジンランダムプレイがオンのときはトラックナンバーとディスクナンバーが点滅します。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 スキャンプレイを開始します



Scan ON

押すたびに、スキャンプレイがオン/オフされます。スキャンプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイされます。



すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。

タイトル/テキストスクロール

SCL設定が“MANU”のときに、タイトル/テキスト表示をスクロールさせます。

1 タイトル/テキスト表示にします



D-TITLE

「ディスプレイ表示切り替え」(24ページ)を参照してディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

2 スクロール表示します



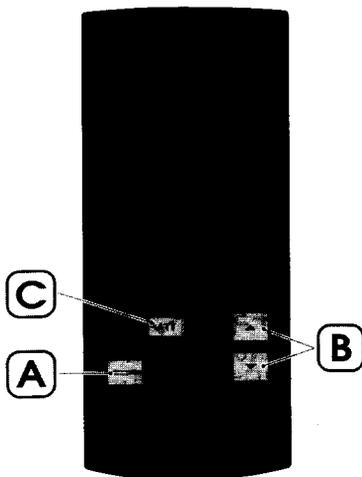
ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが1回スクロールします。



「メニューセット」(28ページ)の“SCL”項目が“AUTO”のときに、上記の操作を行うと、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。

Remote Control

共通の操作



ソース切り替え

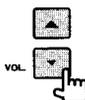
A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B



音量を調節します。

アッテネーター

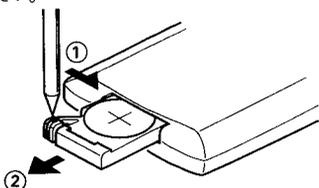
C



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

電池の入れかた

ペン先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。付属のリチウム電池 (CR2025) を電池ボックスの表示にしたがって⊕と⊖を間違えないように入れてください。



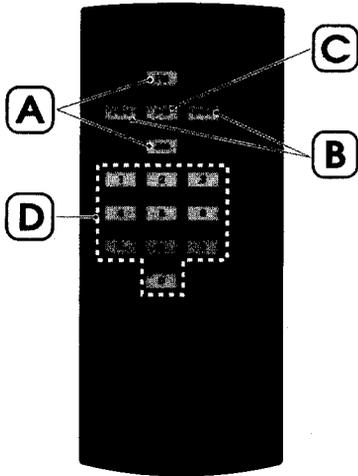
● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、リチウム電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、新しいリチウム電池と交換してください。



注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

ディスク (CD/MP3/MD) の操作



ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)/フォルダーサーチ

A



プレイするディスク/フォルダを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B



プレイする曲/ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイポーズ

C



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

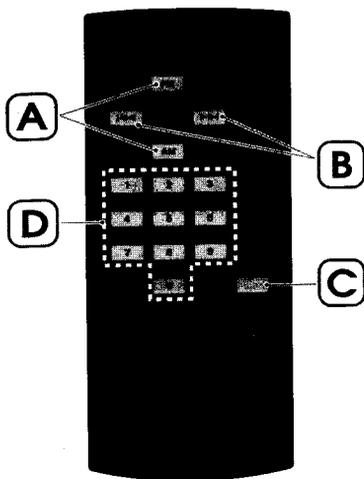
テンキー

D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
MP3ファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すと現在のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

FM/AM放送の操作



バンド切り替え

A  受信するバンドを切り替えます。


選局

B  受信する放送局を選択します。


ダイレクトサーチ

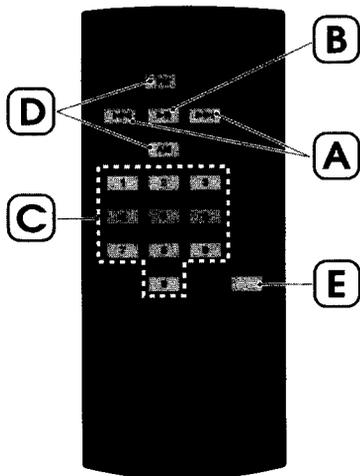
C  このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
 例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

 例：0522kHz(AM)の場合（4桁）


テンキー

D  メモリーされている放送局の番号を選択します。（ ~ ）
 ダイレクトサーチキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。


DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)



カーソル

A



カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

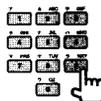
B



入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ/数字・記号) を切り替えます。

テンキー

C



文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合
(カタカナ)
[5] (5回押す)
例: 「h」を入力する場合
(英小文字)
[4] (2回押す)

文字選択

D



文字を順に切り替えます。

終了

E



登録が完了します。



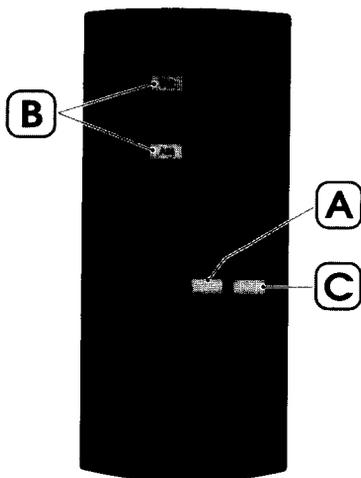
SNPS/DNPSを開始するには、本体の **NAME** を2秒以上押し
ます。

詳しい操作方法は22ページを参照してください。

Remote Control

SBF (セレクトバイファイルプレイ) の操作

別売品のCDチェンジャーにセットされているCDの中から、DNPSで付けたディスクネームを表示させて探す機能です。
(SBFはリモコンでだけで使用できる機能です)



1 SBFを開始します

A



"DNPP" と表示されてSBFモードになります。
ディスクネームが5秒間ずつ表示されます。

聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

2 ディスクを選びます

C



表示中のディスクをプレイします。

SBFを中止します

A





Help ? Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。

- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルが開いている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。

- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い (音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、DISC-CHIに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。

- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音が途切れる

CDをイジェクトしている。

CDのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音が出ます。

ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

FM/AM放送を聴いている。

チューナーモードでは低音のみが強調されます。

ディスプレイが希望通りの色にならない

車内の環境(温度変化など)により、通常の色と異なることがあります。

CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもCDに切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

CDが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

CDのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(15/17/36ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラック/ファイルリピートがオンになっている。

トラック/ファイルリピートをオフにしてください。(14/17/36ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(15/17/37ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(36ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(15/17/36ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(37ページ)

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD イジェクトボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

ディスクチェンジャーでトラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

ディスクチェンジャーモードを選択しても“AUX”と表示される

- O-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

- O-NスイッチはN側に設定してください。
- “O-Nスイッチ”のついているのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

MP3 File Control

MP3のディスク/MP3ファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3ファイルにMP3の拡張子が付いていない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (51ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルに拡張子“.MP3”を付けてください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外にMP3の拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子は付けしないでください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (51ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはフォルダネーム、ファイルネーム、タイトル名、アルバム名およびアーティスト名です。

MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tagの情報が正しく表示されない

- ID3 Tag v1.xに準拠して記録されていない。
- 漢字やひらがなを使用して記録した。

- ID3 Tag v1.xに準拠して記録してください。
- 本機は漢字やひらがなの情報は表示されません。

Name Set/SBF

DNPSができない

- 別売品のMDチェンジャーでMDをプレイしている。
- ディスクタイトル、トラックタイトル、フォルダネーム、アルバム名またはアーティスト名表示になっている。

●別売品のMDチェンジャーではMDにDNPSはできません。

- ディスクタイトル、トラックタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、タイトル名、アルバム名またはアーティスト名表示以外の表示を選択しておいてください。

DNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

ディスクネームが登録されていない。

ディスクネームを登録してください。(22ページ)

登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
- 車両のバッテリーを交換などしたため。
- 本機のリセットボタンを押したため。

- 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。
- 本機のリセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。

本機に登録できる枚数は30枚までです。登録できるディスクネームは接続されたCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

- ディスクネームが登録されていない。
- プレーヤーやマガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。

- ディスクネームを登録してください。
- すべてのCDをプレイしてください。

Menu Set

SCL項目が表示されない

使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

Security項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、メニューセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- E-04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
⇒ほかのディスクを使用してください。
- E-12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
⇒データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- NO DISC** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- NO NAME** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- NO TITLE** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- NO TEXT** : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●ID3 Tagが記録されていないMP3ファイルを再生中に、ID3 Tagの表示にしようとした。
- E-11** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-10** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- E-05** : ディスクが裏返しになっている。
- E-15** : ディスクに本機で再生できるデータが入っていない。
- NO ACCESS** : ディスクチェンジャーに入れてから1回もプレイしていない状態でSBFを行った。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD** : 本機のCDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
⇒ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
⇒イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- IN (点滅)** : CDプレーヤーが正常に動作していない。
⇒▲ボタンを押してCDを取り出してください。CDが取り出せないまたはCDを正しく入れ直しても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

Help ? Word

AUTO 1/2/Manual

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1: 放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual: 1ステップずつ周波数が変わります。

Beep

(ビーブ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1～3秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ピッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

DIM

(ディマー)

電源ハーネスのイルミネーションが接続されている時にこの機能を“ON”に設定しておく、車両のライトスイッチをオンにしたときに、自動的に本機のディスプレイが暗くなります。

Display A/B/C/D

(ディスプレイA/B/C/D)

ディスプレイに表示させる情報を4つのタイプに切り替えられます。

Display A: 円形ディスプレイに演奏時間を表示します。

Display B: 円形ディスプレイに時計を表示します。

Display C: 円形ディスプレイが消灯します。

Display D: デモンストレーションモードになります。

DSI

(ディスプレイシステムインジケーター)

この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG1 Audio Layer 1.0/2.0/2.5」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本機にMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3」(51ページ)をご覧ください。

MP3 ID 3 Tag

(エムピイスリーアイディスリータグ)

MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。本機ではファンクションセットの設定により曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報を表示することができます。詳しくは「Help? MP3」(51ページ)をご覧ください。

SCL

(スクロール)

ディスプレイにディスクトラックタイトル、ディスクトラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておく、スクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようになります。

SWPRE

(スイッチングプリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力(ノンフェーダー出力“NF”)に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

V-OFF

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“V OFF”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C510, KDC-C506など)、MDチェンジャー(KMD-C30, RJ-480など)です。

Help ? MP3

本機は、MP3ファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

使用できるメディア

使用できるMP3が収録されているメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1 : 12文字
- ISO 9660 Level 2 : 31文字
- Joliet : 64文字
- Romeo : 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255 (ファイル数+フォルダ数)
- 最大フォルダ数 : 50
- 最大フォルダ名 : 64文字

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ライティングソフトの設定

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字または半角カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。ライティングソフトによっても正常に表示できない場合があります。

また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルはMP3の拡張子(.MP3)が付いたものだけです。MP3ファイルには、MP3の拡張子を付けて保存してください。



MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けないようにしてください。

禁止

ID3 Tagについて

本機で表示できるID3 TagはID3 Tag v1.x規格で記録されたタイトル、アーティスト、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数字、半角カタカナです。漢字、ひらがな、および全角カタカナは正しく表示されません。

なお、ID3 tag v1.x規格には以下の制限があります。

- タイトル : 30 byte以下
- アーティスト : 30 byte以下
- アルバム名 : 30 byte以下

メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

使用するメディアには、MP3ファイル以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

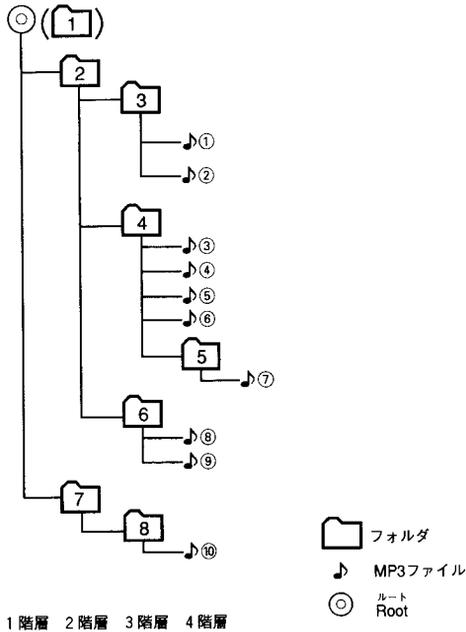
MP3ファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の ファイルNo.		
♪④	♪④の先頭→♪③	♪⑤→♪⑥

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・

♪④ を再生中にフォルダサーチをすると、次のようにフォルダを選びます。

ボタン操作 現在の フォルダNo.		
4	3 → 2 → 1 → 8 ...	5 → 6 → 7 → 8 → 1 ...

♪④ 再生中にフォルダセレクトを選択し、フォルダの移動を行うと・・・

ボタン操作 現在の フォルダNo.					
4	3	6	2	5	

取り付け時のご注意

警告



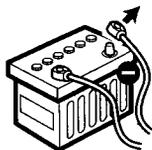
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

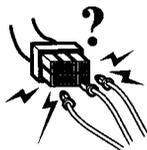


配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。

ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。

配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



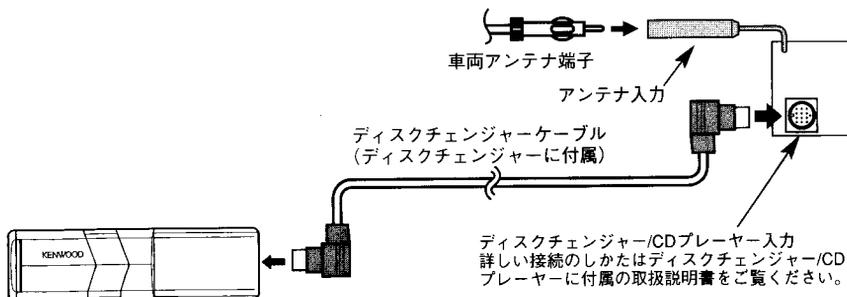
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

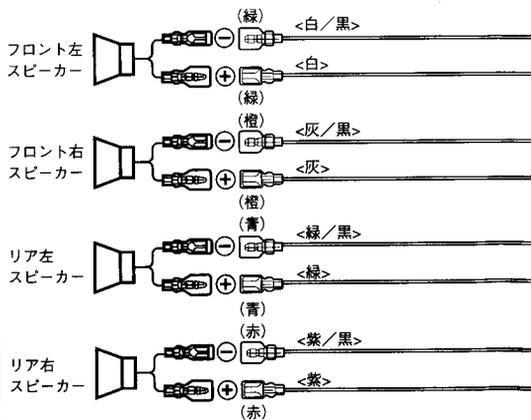
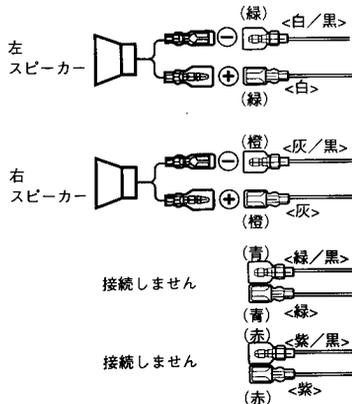
実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。



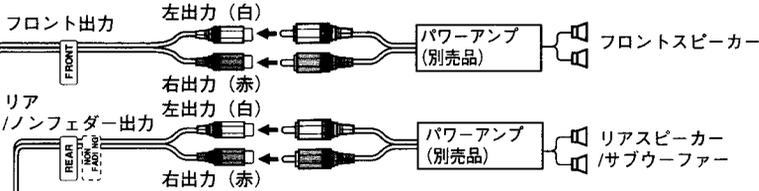
- 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーの“O-Nスイッチ”は“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



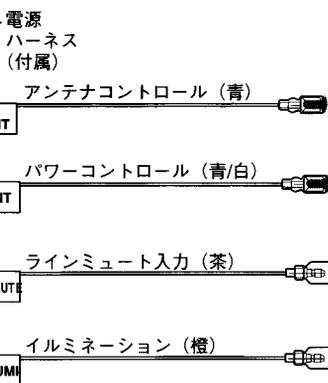
注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



! ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

! ラインミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります



アンテナコントロール (青) オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール (青/白) 別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

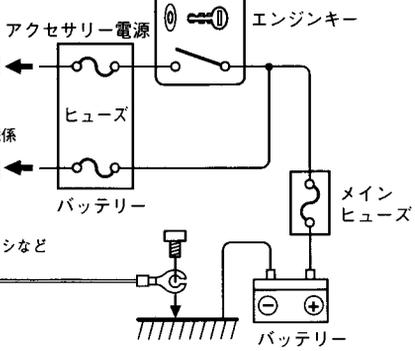
ラインミュート入力 (茶) ケンウッド製ナビゲーションシステムのラインミュート端子に接続してください。

イルミネーション (橙) 車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

アクセサリ電源 (赤) (+) エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

バッテリー電源 (黄) (+) メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

アース (黒) (-) 車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなど) へ接続してください。



取り付け

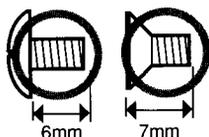
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



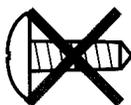
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



その他のネジ

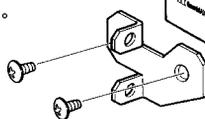


付属ネジ一覧

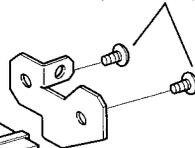
	トラスネジ (M5 × 6mm)	4
	サラネジ (M5 × 7mm)	4
	セムスネジ (M4 × 8mm)	1

セムスネジ
(M4 × 8mm) (付属)

● 別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



トラスネジ
(M5 × 6mm) (付属)
または
サラネジ
(M5 × 7mm) (付属)

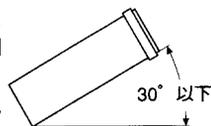


車両ブラケットなど



● 本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。
30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因やパネルの開閉に支障をきたすことがあります。

● 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。
破損することがあります。



● 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

必ずお読みください

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs($\lambda=780$ nm)
回転数	1000~400 rpm (線速度一定・倍速)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	105 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB
MP3デコード	MPEG-1.0/2.0/2.5 Audio Layer-3準拠

オーディオ部

最大出力	47 W \times 4
定格出力	29 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD以下)
ブリアウトレベル	1.8 V/10 k Ω (CD/CD-CH)
ブリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (低音)	100Hz \pm 10dB
(中音)	1kHz \pm 10dB
(高音)	10kHz \pm 10dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	182 \times 53 \times 155 mm
質量 (重さ)	1.25 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
リモコン	1個
電池 (リチウム電池)	1個

*これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
 カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
 (大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
 受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。